

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	工業デザイン実習3
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	選択	時間数	120時間
単位数	4単位	授業形態	実習		
教科書/教材	レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	木村剛		実務経験の有無・職種	有・プロダクトデザイナー	
学習目的					
卒業制作と就職後の実務を踏まえ、これまでよりもレベルの高い課題に取り組み、より実践的な能力を身につける。					
到達目標					
デザイン、ものづくりに対する意欲と能力をステップアップし、希望する進路・職種で求められる人材になること					
教育方法等					
授業概要	15回（本課題は14回）のステップを、デザイン実務のプロセスに基づき「考える」→「伝達する」→「意見を取り入れる」→「精度の高い成果を出す」の4段階に分け、各プロセスの理解力を深めながら進める実習授業				
注意点	就職活動、その他の事情によりやむをえず欠席する場合は、予定が確定したら事前に報告する。 モデル制作などに必要な道具、材料は基本的に授業前に用意する。 ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーション実施ならびに評価を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題技術	40%	課題の表現技術を総合的に評価する		
	課題内容	40%	課題のコンセプト・リサーチ・アイデア・デザインを総合的に評価する		
	プレゼンテーション	10%	課題の発表技術、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエン 課題説明		より高度な課題でも対応できる理解力を高める		
2回	リサーチ、行動検証		出来事を考察し、ヒト、モノ、コトをつなぐプロダクトの仮説を導き出す		
3回	アイデア検討（仮説の検証）		仮説を元に、たくさんのアイデアを検討することで思考の展開力を養う		
4回	アイデア検討（仮説の検証）		仮説を元に、たくさんのアイデアを検討することで思考の展開力を養う		
5回	具体案の検討		時間を掛けずにアイデアを可視化することで、アイデアの問題点に気が付ける能力を身につける		
6回	簡易モデル、3Dデータ、スケッチ作成		短時間の制作でも自分のアイデアを人に伝えられるようになる		
7回	簡易モデル、3Dデータ、スケッチ作成		短時間の制作でも自分のアイデアを人に伝えられるようになる		
8回	中間発表、アイデア投票		客観的な評価を得ることで、自分の考えと他の人の捉え方のギャップを体感する		
9回	ブラッシュアップ作業（最終提出案の決定）		客観的な意見を取り入れることで制作物の精度が高まることを体感する		
10回	提出モデル、説明資料（3Dデータ、動画など）制作		モデリング能力、3D、動画データの制作スキルを高める		
11回	提出モデル、説明資料（3Dデータ、動画など）制作		モデリング能力、3D、動画データの制作スキルを高める		
12回	プレゼンテーションボード作成		簡潔に情報を伝達するノウハウとグラフィックデザインの技術を身につける		
13回	プレゼンテーションボード作成		簡潔に情報を伝達するノウハウとグラフィックデザインの技術を身につける		
14回	プレゼンテーション・講評		精度の高い成果物を用いて発表を行うことで、プレゼンテーション能力を向上させる		
15回	卒業制作テーマ検討		卒業生の作品を振り返りながら、テーマを考えるためのヒントを探る		